

# 「静岡県人口減少対策への提言」の概要

## I 静岡県が直面する人口減少問題

### (人口減少の進行)

- ・静岡県では、2007年12月の379万7千人をピークに人口減少局面を迎え、2014年10月の推計人口では369万8千人となり、ピーク時から約10万人減少
- ・今後も数十年間にわたり、静岡県の人口は減少が続いていく見込み

### (人口構造の変化)

- ・単に人口が減少してだけでなく、人口構造そのものが大きく変化
- ・静岡県の2040年の人口構成は、年少人口(0～14歳)10.5%、生産年齢人口(15～64歳)52.5%、高齢者人口(65歳以上)37.0%という超高齢社会を迎える見込み

### 静岡県における人口減少の特色と踏まえるべき主な視点

#### ○合計特殊出生率の本格的な回復の実現

- ・静岡県の合計特殊出生率は1.53(平成25年)で回復傾向
- ⇒更なる回復に向け、社会総がかりでの次世代育成に向けた取組を充実することが必要

#### ○喫緊の社会減対策

- ・静岡県の日本人の社会増減数(平成25年の1年間)は東京圏への転出等により全国46位とワースト2位
- ⇒人口流出、東京一極集中に歯止めを掛ける社会減対策が喫緊の課題

#### ○働く世代や若年女性が活躍できる環境整備

- ・静岡県における社会減の大きな要因は、働く世代や若年女性の転出超過
- ⇒産業の振興による雇用の場の創出、女性に魅力ある働く場の開拓、女性が継続就業できる環境整備が必要

#### ○中高年齢層をより一層呼び込む取組

- ・静岡県は、55歳以上の年齢階層では総じて転入超過
- ⇒技能や消費力を持つ中高年齢者層を、より一層呼び込む取組が必要

#### ○外国人を呼び込む戦略的な取組

- ・静岡県の外国人の社会増減数(平成25年)は全国ワースト1位
- ⇒2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催を契機とした誘客促進、多文化共生の先進県のPRなど、外国人観光客や優秀な人材を呼び込むための戦略的な取組が重要

#### ○静岡県の持つ世界水準の魅力を活かした交流の拡大

- ・静岡県は世界遺産富士山をはじめとする世界水準の魅力に満ち、新幹線や高速道路など、交通インフラにも恵まれた地域
- ⇒静岡県の持つ魅力を磨き上げることで交流を拡大し、静岡ならではの豊かさを実感できるライフスタイルのアピールなどにより交流を移住・定住につなげていく仕組みづくりが必要

## Ⅱ 人口減少対策の基本的視点

### 1 人口減少社会を切り開く静岡を「創造」する発想と実践

○人口減少下でどのような地域を創るのか、明確な意志に基づく実践

- ・今後、数十年は人口が減少し続ける中で、現在は存在しない仕組みや資源の活用を想定
- ・未来への想像力を持ちながら、人口減少のプラスの側面にも目を向け、自然減と社会減を抑制する施策と人口減少社会へ適応する施策展開

### 2 静岡の特性を活かした「魅力」の最大化

○静岡県の持つ魅力の磨き上げによる、他の自治体との差別化

- ・富士山をはじめとする豊かな自然、古来から東西交通の要衝の地として培ってきた歴史・文化や産業集積など、国内外に誇るべき魅力の最大化
- ・静岡らしいライフスタイルの提案や、産業、生活、教育・育児、医療・福祉部門における支援策の充実などを、分かりやすいメッセージとして県内外に発信

## Ⅲ 人口減少対策に向けた戦略

### 1 人口減少の「抑制」戦略

○人口減少の急激な進行の抑制

- ・少子高齢化や東京を中心とする大都市圏への転出拡大などによる人口減少の急激な進行を抑制し、社会が安定する静止人口状態の緩やかな実現に向けた官民一体の取組が必要
- ⇒「生んでよし」、「育ててよし」、「老いてよし」の地域を目指す自然減対策、静岡県に人の流れを呼び込む社会減対策を推進

両面からの取組による相乗効果の発揮・好循環の確立

### 2 人口減少社会への「適応」戦略

○人口が減少しても快適で安全な生活を維持

- ・確実に到来する人口減少・少子高齢化社会に対する適応を図っていくことが必要
- ⇒人口減少は避けることができないという前提のもと、これまで築いてきた社会に代わる、人口が縮小しても快適で安全な社会を創造

## IV 人口減少対策の方向性

### 《人口減少の「抑制」戦略》

#### 1 自然減対策

##### (1) 社会総がかりでの次世代育成の促進 《社会全体の取組》

- 次世代育成の大切さへの理解を深め、社会全体で子育てを応援するための意識改革
- 命の尊さの理解促進、世代間の相互扶助を実感できる機会の充実

###### <取組例>

- ・企業のトップが率先して取り組む職場優先の企業風土の更なる改革
- ・子育てやPTA活動への男性の参画促進等を通じた地域社会における意識改革
- ・小中高校生の乳幼児に触れる機会等を通じた「命の尊さ」の理解醸成 など

##### (2) 夢を持ち安心して家庭を築ける環境整備 《出会い・結婚》

- 未婚者の男女の8割が望む「結婚」への歩みを着実に進めることができる気運の醸成
- 結婚や家族の形成を選択できる、若者の経済的基盤の安定化

###### <取組例>

- ・若い世代が将来設計を考える機会の創出
- ・中山間地域等における様々な組み合わせの婚活事業などによる出会いの場の創出
- ・若者の経済的基盤の確立に向けた取組の推進 など

##### (3) 希望出生数をかなえる環境整備 《出産》

- 妊娠・出産・産後の不安解消などを図る、切れ目のない支援の充実
- 安心して第2子以降を生むことができる出産施設や多様な出産環境の整備

###### <取組例>

- ・妊娠・出産のための健康づくりと正しい知識の普及
- ・フィンランドの「ネウボラ」を参考とした妊娠期からのワンストップ相談支援体制の充実
- ・助産院出産や自宅出産など地域で安心して出産できる環境の整備 など

##### (4) 子育て支援の充実 《子育て》

- 子育て世帯が住居を選ぶ際にポイントとなる保育や教育の多様な選択肢の確保
- 子育てという営みが社会的に評価される仕組みづくり

###### <取組例>

- ・潜在需要も含めた真の需要を踏まえた、保育所や認定こども園の整備促進
- ・長い子育て期間を楽しむことができる多様な保育サービスと魅力ある学校づくり
- ・地域や職場における「子育ては尊い仕事」の理念の普及と実践 など

##### (5) 健康長寿の延伸 《健康づくり》

- 超高齢社会の日本のモデルとなる健康長寿日本一の更なる延伸

###### <取組例>

- ・健康寿命の更なる延伸に向けた、社会全体での健康づくりの取組
- ・「未病の思想」による疾病予防と早期発見、早期治療 など

## 2 社会減対策

### (1) 産業の振興と雇用の創出

### 《産業・雇用》

- 静岡県経済の確実な回復と雇用創出に向けた多極的な産業構造への転換
- 今後の人口構造の変化に対応した付加価値の高いサービス等の提供

#### <取組例>

- ・農業の生産性と所得の向上による成長産業への発展
- ・サービス産業が成立する30万人超の域内市場の形成
- ・大都市圏同様の事業効果を生むICTと地域産業の結合による新たな産業振興
- ・県内外の大学生及び保護者等に対する県内中小企業の魅力発信 など

### (2) 女性や健康な高齢者が活躍する社会の実現

### 《女性・高齢者》

- 若年層の女性の転出超過に歯止めを掛ける魅力的な就業環境の整備
- 技能や消費力を持つ中高年齢層のより一層の呼び込み

#### <取組例>

- ・高等教育を受けた女性にとっても魅力的な新しい産業・仕事の創出
- ・昇進における男女差の解消など雇用慣行の見直し
- ・円滑な労働移動の促進など、中高年齢層が生きがいをもって活躍できる場の創出 など

### (3) 魅力ある教育環境の整備

### 《教育》

- 高等教育の充実等による大学等進学時の転出抑制や卒業時の転入促進と支援策の検討
- 世界に羽ばたき、グローバルに活躍する人材を育成する質の高い教育環境の整備

#### <取組例>

- ・公立中高一貫教育校や特色ある私立中高など教育環境の多様化
- ・静岡県や日本の発展を担い、グローバルに活躍する人材の育成
- ・県内の進学率、就職率向上のための支援策等の検討 など

### (4) 交流の拡大と移住・定住の促進

### 《交流・定住》

- 観光客＝潜在住民という視点での交流拡大、地域特性と魅力を活かした定住促進策の推進
- 外国人観光客や留学生の受入を前向きに捉え、定住につなげる取組の充実

#### <取組例>

- ・静岡へ訪れる契機となる魅力の磨き上げと情報発信の強化
- ・「よそ者」も分け隔てなく受け入れる意識の醸成
- ・外国人観光客や優秀な海外人材を呼び込む戦略的な取組 など

### (5) 安全・安心な地域づくり

### 《安全・安心》

- 地震や津波に対する不安の払拭による企業の県外移転等の抑制

#### <取組例>

- ・防災先進県としての積極的な情報発信による、地域間競争における優位性の発揮 など

3 適応対策

(1) 人口減少下における持続的成長

《生産性の向上》

- 持続的成長による県民生活の水準向上
- 人の力の最大化を図るワーク・ライフ・バランスと経済成長の両立

<取組例>

- ・技術革新に繋がる高いスキルを持った産業人材の育成
- ・経済成長とライフスタイルの総合的なイノベーションによる生きがいとやりがいの創造 など

(2) ライフスタイルの変化への的確な対応

《ライフスタイル》

- 男性中心の雇用慣行、母親任せの育児などの従来型の仕組み・ライフスタイルの変革
- 経済成長だけでなく、生活の豊かさも実感できる地域の実現

<取組例>

- ・夫婦共働きを尊重する雇用慣行への変革
- ・将来に希望を描くことができるライフスタイルや働き方の提示
- ・生活と自然が調和した静岡ならではのゆとりある住まいの提供 など

(3) 地域社会の活性化

《地域社会》

- 人口減少に伴う地域社会の変化を踏まえた、地域における新しい絆の形成
- 生活の質を維持するための地域実態に応じたコンパクト化の検討

<取組例>

- ・ソーシャルキャピタル(社会関係資本)の再構築による地域の新しい絆の形成
- ・外国人の定住等をポジティブに受け入れる地域の国際化
- ・地域特性に応じた都市機能のコンパクト化
- ・ソーシャル・インパクト・ボンドの導入検討 など

(4) 行政運営の効率化・最適化と連携の推進

《行政運営》

- 既存の自治体の枠にとらわれないボーダレスな人口減少対策の推進
- 行政サービス・社会資本の維持等に向けた新たな仕組みの検討

<取組例>

- ・大都市圏への人口流出を堰き止める仕事や雇用の場の集積地の形成
- ・広域連携や集落単位などの多層的スケールレベルの施策展開
- ・来訪者の受益者負担による行政サービスの維持の検討 など

## V 時間軸を踏まえた人口減少対策の推進

### 1 短期的かつ緊急的な取組の視点

- ・人口減少の深刻な状況について県民との基本認識の共有
- ・人口の急激な減少を阻止するための、自然減対策と社会減対策の迅速かつ的確な実施

### 2 数十年後を見据えた取組の視点

- ・静岡県将来の姿と今後の取組の方向性を示す「長期人口ビジョン」の策定
- ・将来的に静岡県が目指すべき安定的な人口規模の緩やかな実現
- ・安定人口の県内分布を見据えた課題の抽出や対策の構築、ノウハウの蓄積

## VI 提言の実現に向けて

### 人口減少対策の推進体制の構築

- ・人口減少対策に関係する各界・各層の代表者による議論の場の創設
- ・市町や地元企業が主役という認識に立った、地域の特性を踏まえた官民一体での推進
- ・適切な政策目標の設定によるPDCAサイクルの確立